

HX STOMP XL チートシート



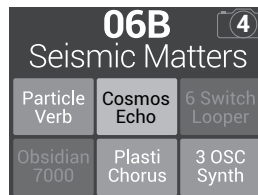
HX Stomp™ XLオーナーズマニュアルの完全版は
line6.com/support/manualsに用意されています
チュートリアルビデオは
line6.jp/meet-hx-stomp-xlに用意されています

分からなくなりましたか？

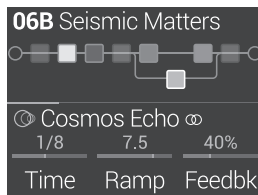
⏪を押せばいつでもホーム画面に戻れます。

⏩を押すたびにプレイ画面とエディット画面が切り替わります。

プレイ画面



エディット画面



VOLUME

これを回して6.3mmメインとヘッドフォンの出力レベルをコントロールします。を押して、シャーシに凹ませます。

アッパーノブ

プレイ画面: このノブを回してプリセットを選択します。
エディット画面: このノブを回してブロックを選択します。
押すと選択したブロックをバイパスします。

ACTION

ここを押すと選択したブロックまたはメニューのアクションパネルが開き、移動、コピー、ペースト、削除等を行うことができます。
⏪ + ACTIONを押してプリセットを保存します。

ロワーノブ

エディット画面: 現在選択しているモデルを変更するときはこれを回します。モデルリストを開くときはこのノブを押します。

◀ PAGE ▶

エディット画面: これを押すことにより、選択したブロックあるいはアイテムのより多くのパラメータを見ることができます。
◀ PAGE + PAGE ▶を押すと、さらに高度な機能や設定が記載されたメニューを開くことができます。

ノブ1~3

エディット画面: ノブを回して選択したブロックのパラメーターを調節します。
値をリセットするときに押します。
このノブを押すとHz, ms, 音価が切り替わります。
長押しすると、そのパラメータのController Assign画面が開きます。
ここを押しながら回すと、スナップショットへパラメータが割り当てられます。
コントローラから割り当てを解除する際は、ACTIONを押しながらノブを押します。

PRESETフットスイッチ

フットスイッチA, B, CまたはDを踏んでスナップショットを1つ選択します。▲/▼を踏んで、プリセットの次/前のバンクを選択します。

▲と▼の両方を踏んで、Snapshotフットスイッチ・モードに入ります。▲と▼の両方を長押しすると、バンク、プリセット、スナップショットのアップ/ダウンが切り替わります。

STOMPフットスイッチFS1~FS6

フットスイッチを踏んでブロックのオン/オフを切り替えます。
選択したブロックにアサインするには、フットスイッチをタッチします。
繰り返しタッチすると、複数のアサインされたアイテムを循環させることができます。

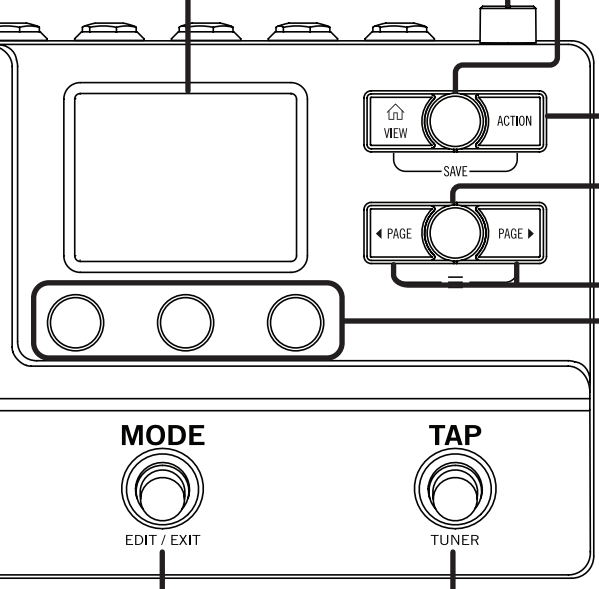
2つのスイッチをタッチしてホールドすると、割り当てが入れ替わります。

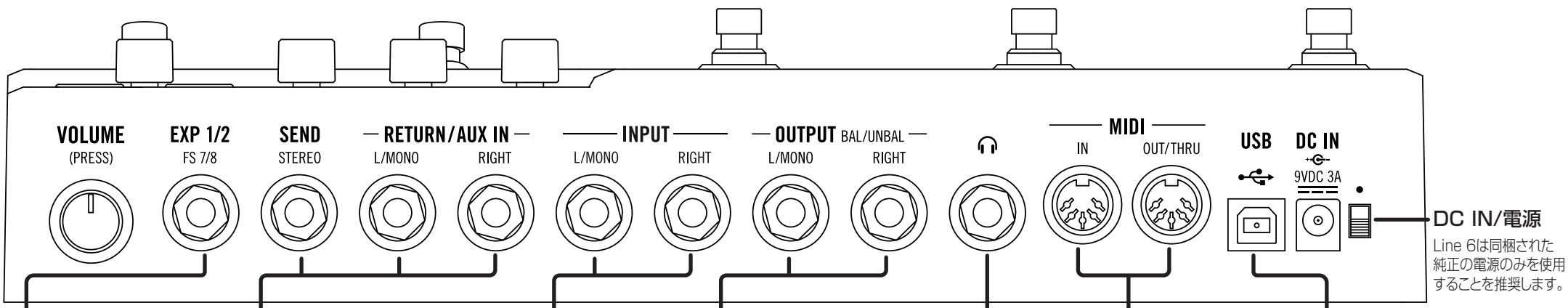
MODE

MODEを踏んでPresetとStompフットスイッチモードを切り替えます。
ペダルエディットモード(足でエフェクトを編集する)をホールドします。

TAP/TUNER

TAPを踏んでテンポを設定します。
長押ししてチューナーを開きます。
エディット画面: タッチしてテンポパネルを開きます。





DC IN/電源
Line 6は同梱された純正の電源のみを使用することを推奨します。

EXP 1/2, FS 7/8
ここにエクスプレッションペダルまたはモーメンタリーフットスイッチを接続します。2台のペダル、またはそれぞれ1つずつ接続する場合は、Yケーブルを使用します。

SEND, RETURN/AUX IN
1つのモノ、またはステレオのエフェクトループとして使用することで、外部ストンプボックスをトーンへ差し込んだり、4ケーブル方式でアンプへ接続することができます(下記の接続図を参照してください)。リターンはステレオAUX入力として常時動作するようにグローバルに設定可能です。

INPUT
ギター、ベースやシンセ等はここに接続します。モノラルの機器を接続する場合はL/MONO入力へ接続します。

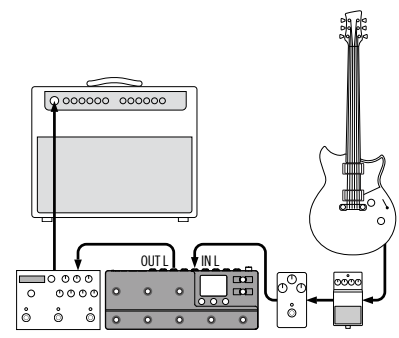
OUTPUT
他のペダルやギターアンプに接続します。モノラルのペダルやアンプ1台に接続する場合は、L/MONO端子を使用してください。バランス信号をでミキサーへ送信する場合は6.3mm TRS > XLRケーブルを使用します。

フォーンアウト
ここにヘッドフォンを接続し、VOLUMEノブを回してボリュームを調節します。

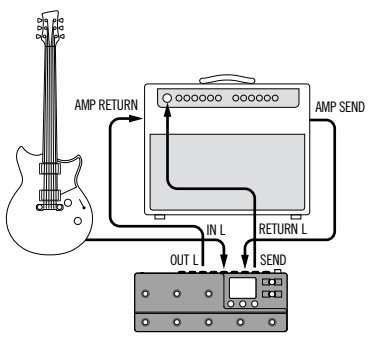
MIDI IN, OUT/THRU
MIDI機器と接続することで、プログラム変更や他のMIDIメッセージの送受信を行うことができます。

USB
コンピュータと接続することでHX Editを介した編集やファームウェアの更新が可能になります。HX Stomp XLは、リアンプ機能を搭載したオーディオとMIDIインターフェースとして機能します。

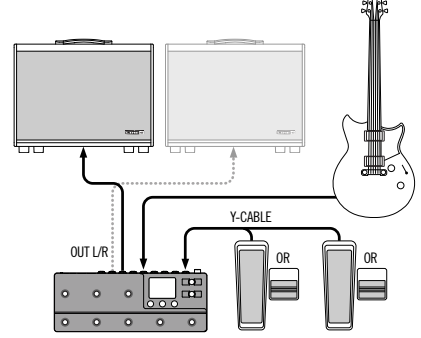
エフェクトペダルとしての HX STOMP XL
「FX」で始まるプリセット



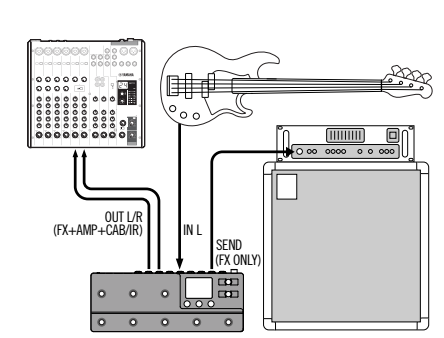
4ケーブル方式を使用した HX STOMP XL
「4CM」で始まるプリセット



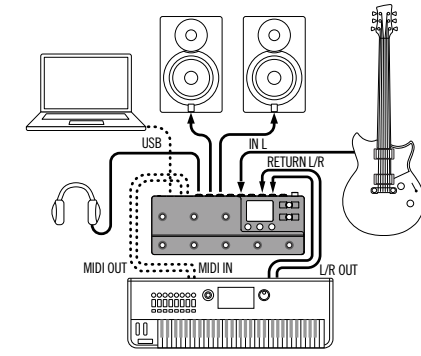
HX STOMP XLを直接パワースピーカーへ
「DIR」で始まるプリセット



ハイブリッドベースリグとしての HX STOMP XL
「BAS」で始まるプリセット



スタジオインターフェースとしての HX STOMP XL



シリアルNo: _____